



会長 山田 正
 幹事 武川 毅
 会報 村上 武彦 高田 次雄
 森田 峯 男
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2718回例会 2019.11.21 No.20

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・佐藤哲弥会員 本日はスピーチ担当です。よろしくお願ひします。
- ・布施孝之会員 佐藤哲弥会員のスピーチを楽しみに。
- ・村上武彦会員 佐藤哲弥会員のスピーチに期待して。
- ・佐藤幸一会員 佐藤哲弥会員のスピーチ、大いに期待いたします。
- ・江川元徳会員 香港の人の人権を守るのは困難。
- ・八谷郁夫会員 16日~17日の少年少女野球、青少年奉仕委員会委員長はじめ皆様ご苦勞様でした。4つのグラウンドでの同時進行の試合、壯観でした。又、1チーム2試合出来る方式は子供達にとっても良かったと思ひました。
- ・菅野幸一郎会員 佐藤哲弥会員のスピーチにご期待します。
- ・佐藤静市会員 佐藤哲弥会員のスピーチに期待して。
- ・菅原慶一会員 明るい佐藤哲弥会員のスピーチに期待します。
- ・武川毅幹事以下 佐藤哲弥会員のスピーチに期待。
 佐々木崇会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員
 菅原文之会員 遠藤光則会員 佐々木源悦会員
 岩淵正彦会員 高橋利光会員 布施孝尚会員
 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員 及川昭宏会員
 太田陽平会員 岩淵栄市会員 杉田広仁会員
 佐藤早智子会員 及川富男会員 大畑好司会員
 千葉正宏会員 伊藤幸子会員 二階堂恭子会員
 後藤和人会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 山田正会長 (小野寺伸浩副会長代読)

先週は、佐沼RCの大きなイベントの一つ、登米市少年少女野球大会がガトルシニアクラブ様のご協力のもと、大会初の2会場2日間にわたって開催されまし

た。初日の開会式では参加チームの多さに驚かされました。東和町青少年ホームの人工芝は緑一色に輝き、2面の試合球場は試合中でも他のチームが練習出来るほどの大会規模に、主催者として充足感に満ちた大会でした。

大畑好司委員長はじめ委員皆様方には早朝から本当にご苦勞様でした。又、2日目にご出席いただいた八谷郁夫PG他、特にレジェンド会員皆様には、野球観戦、閉会式と寒風の中ありがとうございました。衷心より感謝申し上げます。

此の度、佐竹孝行会員が最高裁判所長官賞を受賞されました。誠にめでたうございます。又、11月ロータリーの友に「国連では毎年11月にロータリーデー開催」と興味深い記事がありました。次週の会長要件にて述べさせていただきます。

幹事報告 武川毅幹事

- ・石巻東RCより、会報が届く
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く

各委員会報告

・青少年奉仕委員会 (大畑好司委員長)

11月16日~17日の2日間にわたり、第43回少年少女野球大会を開催致しました。会員の皆様には協賛金のご協力ありがとうございました。又、岩淵栄市会員より、うどんに入れるネギを提供していただき、ありがとうございました。

17チーム、240名の選手参加のもと、1日目は予選リーグ戦、2日目は決勝トーナメントという形で開催いたしました。寒い中子供たちも頑張りました。

◎第43回佐沼ロータリークラブ旗争奪 登米市少年少女野球大会

日時 2019年11月16日(土)・17日(日) 7時30分~
 ところ 光ヶ丘球場
 東和総合運動公園野球場・
 東和総合運動公園多目的グラウンドA・B

主催 佐沼ロータリークラブ
 主管 宮城県登米市トルシニア

結果 優勝 涌谷ブルースターズ
 準優勝 加賀野ジュニアハリケーン
 第3位 佐沼小ジャイアンツ
 第3位 2019沼部イーグルス



第43回少年少女野球大会 優勝・準優勝チームと記念撮影



会員の皆様、早朝からご苦勞様

今週のスピーチ

「古事記を読んで」 佐藤哲弥会員
 今年、妻と島根の出雲大社に行く機会がありました。出雲の国はどんな国だったか昔々を思い、古事記を読んでみたいと思ったのがきっかけで、紹介したいと思ひます。

古事記は上中下の3巻に分かれており、上巻は日本の神話をまとめたお話。中巻は神様にサポートされながらも天皇が日本を1つにまとめて行くお話。下巻はほとんど神様は出て来なくなり、天皇の時勢が書かれています。

というのも実は、天皇のお兄ちゃんは大兄皇子(天智天皇)の時代に倉庫が火事になり、聖徳太子や昔の人が残してくれていた歴史書がほとんど燃えてしまったのに加え、長い時間の中で各地バラバラと解釈の違った日本神話や歴史が伝わってしまったこともあり、天武天皇が「コレ、今のうちにみんなの解釈を統一しとかなないとヤバくない?、あることないこと書いている人も多いうって聞くし、早く真実をまとめとかなないと後の人がすげ〜困ることになるよっ!」と言い出しまして、神話から続く日本の歴史をまとめることになった訳です。原本は流石にもう存在せず写本がいくつか残っており、712年3月9日に完成しました。今から約1300年前です。

元々、編纂の話は飛鳥時代の681年から出ていたのですが、数年後に言い出しっぺの天武天皇が亡くなってしまったため、企画が流れてしまい完成までに30年もかかってしまいました。編纂に関わったと言われる主な人物は、天武天皇、^{みよたかのあ礼}稗田阿礼、^{おのおのたかふ}太安万侶の3人です。

天武天皇は先程から出ている通り、言い出しっぺです。稗田阿礼に「日本の神話と歴史をまとめるから、全部丸暗記して」と無茶ぶりの指示を出しました。稗田阿礼は語り部で古事記に書いてある内容を全て暗記した人物で「一度見たり聞いたりしたことは忘れない」という、超うらやましい特殊能力をもっていたため、28歳の時に天武天皇からスカウトされました。

太安万侶は編集者です。朝廷で働いていた学者で天武天皇の死後、稗田阿礼から聞いた日本神話と歴史を編集して分かりやすく書き起こしました。当時はまだ平仮名も片仮名も無かったので、漢字のみで日本語の発音を表現するのにとても苦勞したそうです。古事記だけでなく、日本書紀や万葉集の編集にも関わったと言われております。

日本書紀は当時の共通語、漢文で書かれていて他国に「日本は独自の文化を持った独立した国家ですか

らあ!!」と伝えることが目的だったと言われていません。そのため、近隣諸国の人に「日本すげ〜じゃん!!」で言ってもらえるように、日本の昔ながらの考え方よりも最新の中華思想に合わせて書かれたそうです。そのためか同じ登場人物でも、古事記とは全然ストーリーが違うものもあります。

古事記が日本書紀と比べて内容がユルイのは、歴史書などの資料を元に書かれたものでなく、口伝の話をまとめたものだからじゃないかと言われています。日本書紀とは違い古事記はコンパクトにまとめられています。特に、書き方が特徴的で漢文で書かれた日本書紀に対して、古事記は日本語で書かれました。江戸時代まで古事記は日本書紀のオプショナルくらいでしか学ばれてきませんでした。江戸時代の学者、本居宣長が古事記を解説した「古事記伝」を出版したことで、古事記が大ブームに。おかげで一般の人にも古事記の素晴らしさが伝わり、広く知られるようになりました。因に、彼はこの「古事記伝」を書き上げるのに35年もかけたそうです。

・イザナギとイザナミの神話

現在の日本は「神様の住む天界」「人間の住む地上」「死者の住む冥界」の三層に分かれているけれど、その頃はまだ気体と個体すら分かれていなくて、なにもない世界がどこまでも広がっているだけだった。それから長〜い長〜い時間が経ったある日、ふいに天と地が分かれました。すると、どこともなく天に神様になりなりと生まれてきた。ミナカヌシ、タカミムスビ、カムムスビの3人の神で、ことあまつかみと呼ばれる神だ。神々が増えてくると、3人の神からイザナギとイザナミにアメノヌボコを与え国を作ることになった。そもそも「国」って一体何なんだと悩みながらも島々を作っていく。日本最初の結婚式を行ったのもこの二人。日本の国が大体出来上がった後、今度は神々を生んでいく。家の神様・建物の神様・風木から家を守る神様、海系・川系・風系・木系・山系の神々…。しかし火の神を生んだ時イザナミはやけどをして、それが原因で死んでしまう。イザナギは悲しくてイザナミを生き返らせるため黄泉の国に迎えに行くが、そこでイザナミは変わり果てた姿になっていた。びっくりして逃げるイザナギに黄泉の国で暮らそうと追いかけるがイザナギは黄泉の国から命からがら逃げ出した。イザナミは悔しくて「一日1000人の人を殺す」と呪った。するとイザナギは「一日1500人の赤ちゃんを産ませる」と話した。こうしてイザナミの呪いによって人間には寿命ができた。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。